

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価結果(岐阜県)

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				令和元年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策
205 関市	①自立支援・介護 予防・重度化防止	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成17年度以降、総人口が減少しているが高齢者人口は増加。現在、高齢化率は30%を超えている。 ○ 生活習慣病による受診率が65歳以降増加。介護や介助が必要になった主な原因は脳血管疾患が約3割、骨折・転倒は約2割、次いで心臓病が多い。生活習慣病予防対策とともに、身体機能の維持・向上や介護予防、重症化予防が重要である。 ○ 高齢者が高齢者同士で支え合う場づくり、身体機能の維持向上が図れる場づくりの提供と拡大及びそこに参加する高齢者を増加させることが課題である。 	住民主体の通いの場を充実させ、人と人の繋がりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進	<p><指標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2025年度までに通いの場への参加者数が高齢者人口の1割(指標:2600人)※2025年高齢者人口推計26,539人 2. 2025年度までに住民主体の通いの場が人口1万人に対して10か所(指標:80か所)※2025年人口推計81,562人 <p><事業内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護予防に取り組むきっかけづくり(ロコトレ講座、介護予防教室)を行う <p>○ロコトレ講座 H29実績 開催回数300回 参加者数10,044人 H30実績 開催回数280回 参加者数9,231人</p> <p>○介護予防普及啓発事業 H29実績 開催回数80回 参加者数1,044人 H30実績 開催回数22回 参加者数288人(前年度と計上の方法を変更したため、実績減少)</p> <p>【目標】①参加者数の増加 ②介護予防普及啓発事業については開催回数も増加</p>	<p>○ロコトレ講座 開催回数255回 参加者数8,273人</p> <p>○介護予防普及啓発事業 開催回数18回 参加者数165人</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ロコトレ講座は毎回人気があり、定員を超える申し込みがあるが新規が少ないため、新規者の拡大が課題である。講座終了後は自主活動のサークルが作れるよう支援する。 ・参加者拡大(特に新規者)のため、全小学校区での講座を目標にしている。R3年度で全小学校区での講座開催の見通し。
205 関市	①自立支援・介護 予防・重度化防止			<ol style="list-style-type: none"> 2. 住民主体の通いの場の立ち上げと継続を支援する <p>○通いの場 H29実績 登録団体数10か所 H30実績 登録団体数11か所</p> <p>○通いの場代表者交流会※H30より開催 H30実績 開催回数1回 参加者数27人</p> <p>○歯科衛生士派遣(オーラルフレイル予防)※H30より開催 H30実績 1回</p> <p>【目標】前年度より増加</p>	<p>○通いの場 登録団体数19か所</p> <p>○通いの場代表者交流会 開催回数1回 参加者数39人</p> <p>○歯科衛生士派遣(オーラルフレイル予防) 開催回数12回 参加者数275人</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの協力で通いの場の登録団体が増加した。把握できていない通いの場が存在していると思われるため、次年度も包括と生活支援コーディネーターが連携し、地域の介護予防活動を把握していく。 ・オーラルフレイル予防については、サロンや通いの場へ歯科衛生士が健康教育を行った。前年度より大幅に派遣回数が増加した。次年度も周知啓発を行う。 ・通いの場の継続支援として、代表者交流会を実施した。代表者だけでなく、通いの場参加者にも声を掛けた。参加者同士で情報交換ができたので今後は交流会として開催してほしいとの声が上がった。次年度の計画に活かす。また、通いの場に対して、ロコトレ体操のDVDを配布した。体操は健康運動指導士または理学療法士が指導。指導後はDVDを使って体操を継続してもらう。